資料４

○大雪に関する市民広報の取組み（新潟市）

新潟市除雪体制等検証会議（R3～R4）

提言の３本柱

1　除排雪の効率化
2　市民広報の積極的な展開
3　PDCAサイクルの構築

大雪は災害であることの理解・浸透

- *大雪時は、道路交通確保に時間がかかることや、交通渋滞・公共交通の運休等が発生することを広報すること*
- *さまざまな手法を通じて市民の災害意識の向上を促すこと*

大雪時の行動変容を促す

- *外出自粛に繋げる市民広報を行い、行動変容を促すこと*
- *大雪に対する対応力のレベルにあった除排雪や市民への行動変容が可能となるよう試行・検証を実施すること。*

除雪体制の市民周知

- *新潟市の除雪体制について、パンフレットやリーフレットにより十分周知するよう努めること。*
- *大雪時には、市民の不安解消に向け、各種メディアを活用し継続的な除雪状況などの情報発信を行うこと。*

降雪期前

広報内容

- 大雪は災害であることの理解・浸透
- 除雪体制の市民周知

除雪方法、協力のお願い、お役立ち情報など

⇒各種媒体による広報活動

パンフレットやポスター掲示、市報、テレビ、HP

⇒イベント開催などによる意識啓発

Jリーグ開催にあわせたイベント、ショッピングモール

○リーフレット

新潟ゆきみちガイド

大雪は災害

○イベント開催状況

平常時　降　雪　期

広報内容

- 日頃から大雪への備え
- 最新情報の確認

⇒HP内に情報を集約した特集ページを設置

掲載情報は、気象情報、除雪状況、公共交通、ライフライン、ゴミ収集、高齢者支援など

○除雪状況の公開ページ(新潟市HP)

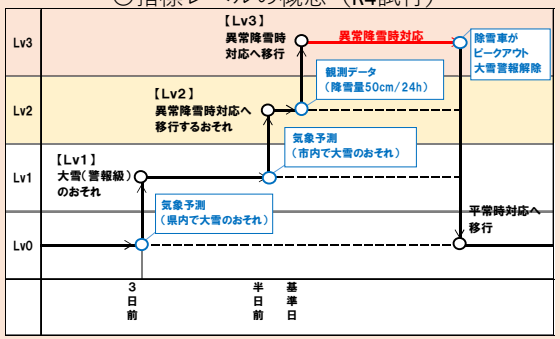
大雪時

広報内容

- 気象予測や降雪状況に応じたレベル毎に広報を実施

平常時の内容に加えて「不要不急の外出抑制」や「異常降雪時対応への移行と市民への協力のお願い」など

⇒SNSやHPで情報発信

市公式ライン、防災メール、Twitterなど

○指標レベルの概念（R4試行）